

平成25年度

久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会

～モノづくり中小企業における産学官連携開発の勘どころ～



日時：平成25年**10月22日**(火) 13:00～18:30

会場：久留米リサーチセンタービル展示場(久留米百年公園内)

参加費：講演会 **無料** (懇親会 1,000円/人)

■基調講演

“役割を担いあう、アウトプット型産学官連携”

福岡県工業技術センター 所長 神谷 昌秀 氏



■産学官連携開発紹介

“研究機関の産学官連携窓口・活動紹介と連携開発事例の紹介”

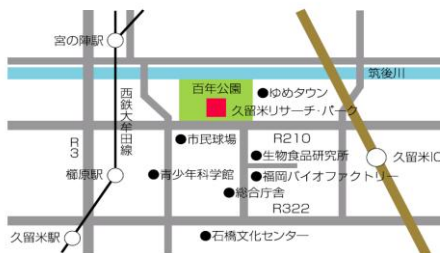
久留米大学／(株)イナバ、久留米工業大学／森山工業(株)、久留米高専／(株)Sing
福岡県工業技術センター／(株)シマブン、(株)木原ハイテック、兼定興産(株)

◇展示コーナー (16ブース)

研究機関(4)、産学官連携開発実施企業(8)、中小企業支援機関(2)、その他(2)

【プログラム】

| | |
|-----------|-------------|
| 開場・展示説明 | 13:00～13:30 |
| 開会 | 13:30 |
| 基調講演 | 13:40～14:40 |
| 産学官連携開発紹介 | 14:50～16:30 |
| 休憩・展示説明 | 16:30～17:00 |
| 懇親会 | 17:00～18:30 |



【アクセス】

■西鉄久留米駅より
バスで約10分(“百年公園”下車)

■西鉄宮の陣駅より
徒歩で約15分

■主催：㈱久留米リサーチ・パーク

■後援：久留米市、(株)筑邦銀行



(株)久留米リサーチ・パーク

〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1番1号

お問い合わせ

研究開発部 牟田・姫野
☎ 0942-37-6114 FAX 0942-37-6367
URL : <http://www.krp.ktarn.or.jp/>

FAX.0942-37-6367 (申込締切日：平成 25 年 10 月 11 日 (金))

株式会社久留米リサーチ・パーク 研究開発部 橋本 行

平成25年度 久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会 参加申込

- ・参加されたい項目に○印をご記入下さい。すべて参加の方は、3ヶ所に○印をお願いします。
- ・1企業からの複数参加、部分参加も歓迎します。

| | | | | |
|--------|--------|-------------|------------------|----------------------|
| 会社名 | | 業種 | | |
| 所在地 | 〒 | | | |
| 連絡先 | Tel. | fax. | | |
| 参加者氏名 | 所属・役職名 | 基調講演に 参加 | 産学官連携開発 紹介に参加 | 懇親会※に 参加(1,000 円) |
| | | | | |
| E-mail | | | | |
| | | | | |
| E-mail | | | | |
| | | | | |
| E-mail | | | | |

※懇親会では、アルコールの提供を予定しております。飲酒される方は、お車でのご来場はご遠慮下さい。

※本申込書に記載された個人情報については、参加者名簿作成及び弊社より関連情報提供等のための利用目的範囲内で取り扱うこととし、その範囲を超えて使用はいたしません。

基調講演について

| | |
|------|---|
| 講演概要 | グローバル化や長引く景気低迷、製造人材の減少など、製造業は大変厳しい環境が続いている。一方、研究開発では 20 年以上に亘って、産学官連携活動が大変活発となっている。しかし「優れた技術成果を得ても、優れた製品や企業発展となる事業化が得られるか」など、大変難しいのが現状である。その実現確率や効率を上げるためのポイント、支援メニューなどを紹介する。 |
| 講師略歴 | 神谷 昌秀 (こうや まさひで) 氏 工学博士、技術士(機械部門) 1981年 九州工業大学卒、同年トヨタ自動車工業(株)に入社し、生産技術開発に従事。 1988年 福岡県入庁、県工業技術センターで、生産技術分野の技術支援。 2001年 県産業・科学技術振興財団で、共同研究開発プロジェクトに従事。 2005年 県商工部 新産業・技術振興課 課長技術補佐。 2006年 同商工部 新産業プロジェクト室長、県の先端成長産業プロジェクトを所管。 2009年 県工業技術センター機械電子研究所長。 現在 福岡県工業技術センター所長。 ・九州工業大学大学院情報工学院 客員教授 ・JST コーディネータ研修講師 ・日本熱処理技術協会九州支部長 ・九州熱処理技術研究会会長 ・福岡県金型研究会副会長 など |

テーマ「モノづくり中小企業における産学官連携開発の勘どころ」について

モノづくり中小企業が厳しい競争社会を生き残り成長するためのカギ、それは、大学や高専、公的な試験研究機関などが持つ優れた技術・設備の活用です。うまく活用すれば、短期間で新商品や新技術の開発が可能となります。

産学官連携に向けて、貴重なネットワークを作る絶好の機会です。ぜひご参加下さい。